



Iwate Network System 岩手ネットワークシステム

■ I N S とは

- いつも飲んで騒ぐ会? →人と人との交流が目的です。
いつかノーベル賞をさらう会? →飲むだけではありません。まじめにいい仕事もします。

I N S は岩手ネットワークシステムの略称です

岩手県内の科学技術および研究開発に関わる産官学民の人々の交流の場です。そこから、次世代に向けた岩手の科学技術と産業の振興をはかりたいのです。

■ 何をするの

- ◎ 科学技術および研究開発に関する知識の修得と普及
 - ・岩手大学の先生を中心に、現在21の研究会を組織して専門的な活動を続けています。
- ◎ 共同研究グループの育成
 - ・岩手県内の企業の研究開発の必要性から、岩手大学などの学と企業などの産とが岩手県などの官の協力を得ながら、共同研究を企画・実施します。
 - ・岩手大学研究支援・産学連携センターの支援組織として研究活動に貢献しています。
- ◎ 科学技術や研究開発にかかわる人の交流
 - ・春、夏と秋に講演会と交流会を行い、人のネットワーク作りを行います。
 - ・北海道、山形、関西圏、茨城、山梨、鳥取、山口、高知などの同様の趣旨の団体との交流会を行っています。
- ◎ 科学技術の普及に関する事業
 - ・良いと思ったことはなんでもします。
 - (1) 市民への公開講座 ー環境やエネルギー問題をテーマにして。
 - (2) 岩手大学研究支援・産学連携センターやいわて産業振興センターなどと各種行事を企画実施します。
- ◎ パネル展示会
 - ・パネルまたは、岩手県の各地で開かれる産学官交流会やテクノフェアーに展示されます。
- ◎ Reports of I N S
 - ・会員の研究成果を年1回発行します。

■ どんな組織

昭和 62 年（1987 年）頃から産官学の有志が会合をもち、交流の輪を次第に広げてきました。平成 4 年（1992 年）3 月に会則を決め、正式な会として発足しました。

会員は個人会員 636 名、法人会員 56 団体で組織され、内訳は産関係者 335 名（団体）、学関係者 154 名（団体）、官関係者 203 名（団体）の計 692 名（団体）となっています（令和 3 年 7 月 21 日現在）。

比較的若い人も、熟年の人も、偉い人も、偉くない人も、男の人も、女の人もいます。

会費は年間 2,000 円（法人会員は 1 口、10,000 円）です。入会希望者は事務局までご連絡下さい。さまざまな情報が提供されます。

- ・ 総会・講演会の案内
- ・ 各種共催行事の案内
- ・ Reports of INS の配布
- ・ 会員名簿の配布

各研究会は、それぞれの独自の活動も行っていきます。入会希望者はそれぞれ研究会の代表者までご連絡下さい。

■ 役員

会 長	岩 渕 明	前岩手大学長
副 会 長	長 田 洋	岩手大学理工学部
	片 野 圭二	（株）アイカムス・ラボ
	水 戸 谷 剛	東日本機電開発（株）
運 営 ・ 企 画 委 員 会 長	内 舘 道 正	岩手大学理工学部
監 事	高 橋 浩 進	岩手大学
	富 手 壮 一	

■ I N S 事務局

◎事務局長 I N S 事務局は岩手大学地域連携推進センター棟 2 階にあります

今 井 潤 岩手大学研究支援・産学連携センター TEL : 019-621-6491 e-mail : junimai@iwate-u.ac.jp

I N S は岩手大学研究支援・産学連携センターの支援組織として、センターと密接な関係をもっています。センターは共同研究に関心のある人々にオープンです。事務局と連絡がとれないときはセンターに連絡してください。（電話：019-621-6491 FAX：019-621-6892 電子メール：ins@iwate-u.ac.jp）

ホームページ



facebook



令和 6 年 8 月 1 日版